**第１号議案**

**２０１７年 度 事 業 報 告**

2017年6月7日（水）東京都港区高輪4-10-30品川プリンスホテルにおける第14回通常総会で決定された2017年度事業計画に基づき実施した事業について下記のとおり報告いたします。

**Ⅰ．2017年度基本方針**

**１．ＲＭＫ認定工場のレベルアップを図り、おいしくかつ安全安心な冷凍めんの生産を推進する。**

・ＲＭＫ認定工場HACCPの強化と小規模工場での第三者認証の取得推進

・会員等への必須情報の共有の為の勉強会の開催

・会員工場の人材育成のためのeラーニング利用率の向上

・FSSC22000、ISO等の規格変更、計量法改正に伴う管理指導

**２．「新鮮凍結めん」RMK認定冷凍めん、だから「おいしい」、だから「簡単・便利」、**

**だから「安全・安心」**

・協会ホームページへの集客を強化し、日本冷凍めん協会の安全安心システムRMK認定制度（≒RMK認定マーク）を広く知って頂く広報活動

・消費者（市販用）・業務筋（業務用）へ、バランスを考えた冷凍めんの広報活動

・女性だけでなく、男性にも冷凍めんを知っていただく広報活動

・プロモーションワード：「新鮮凍結めん」を使い直観に訴える

**３．食品安全など変化する環境に対応するため、また会員各社の要請にスピード感をもって、対応するため、体制の整備に着手する。**

・事業内容の見直し

・見直した内容を実行するための増員

・事業所の拡張

**Ⅱ．組織の概況について**

**１．会員数**

 　本年は計115事業所(B会員1社増、C会員3社減の総数で2社減)となった。

（2018年３月３１日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **区　　分** | **2016年度末** | **2017年度末** | **増　　減** |
| 一般会員 | Ａ　会員 | 16 | 16 | 0 |
| Ａ’会員 | 11 | 11 | 0 |
| Ｂ　会員 | 16 | 17 | +1 |
| Ｃ　会員 | 48 | 45 | -3 |
| 特別会員 | 3 | 3 | 0 |
| 準 会 員 | 23 | 23 | 0 |
| **計** | **117** | **115** | **-2** |

　　　　（注）　　　　【一般会員】

Ａ　会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員並びに組合員

Ａ’会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員

Ｂ　会員：冷凍めんの製造販売を行う全麺連傘下会員並びに組合員

　　　　　　　　　　　　　　　Ｃ　会員：その他、冷凍めんの製造販売を行う企業

　　　　　　　　　　　　　　　【特別会員】　理事会において定める企業

　　　　　　　　　　　　　　　【準会員】 冷凍めんに関する機器資材企業

**２．役員数**

理　事　１3名（会長１名、副会長５名、専務理事１名、理事6名）、監　事２名

**３．役員名**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（所属会社の役職名は2018年3月31日時点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **役　　員　　名** | **氏　　　名** | **所属** |
| 会　　　　長 | 　　　 | 株式会社キンレイ　代表取締役社長 |
| 副会長・会長代行 | 　　　　　 | シマダヤ株式会社　代表取締役会長 |
| 副　会　長 | 　　　 | テーブルマーク株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　 | 全国製麺協同組合連合会　会長 |
| 同 | 　　　 | 日清製粉株式会社　常務取締役 |
| 同 | 　　 | 日本製粉株式会社　取締役常務執行役員　製粉事業部門長 |
| 専務理事 | 　　　 | 一般社団法人 日本冷凍めん協会　常勤 |
| 理事・会計担当 | 　 | 東洋水産株式会社取締役　営業統括部　部長 |
| 同 | 　　 | フレッシュ・フード・サービス株式会社　代表取締役社長 |
| 理　　　　事 | 　　 | 日清食品冷凍株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　 | 西山製麺株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　 | マ・マーマカロニ株式会社　取締役社長 |
| 理事・相談役 | 　　　 | オリエンタル酵母工業株式会社　特別顧問 |
| 監　　　事 | 　　　 | 日本リッチ株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　　 | 堀敬祐公認会計士・税理士事務所　所長 |

**Ⅲ．主な会議、委員会等の開催と審議事項**

**１．通常総会**

第1４回定時通常総会　2017年6月7日（水）　於：品川プリンスホテル

第１号議案から5号議案承認可決。

（１）第１号議案　2016年度事業報告承認の件

（２）第２号議案　2016年度決算報告承認の件

（３）第３号議案　2017年度事業計画報告の件

（４）第４号議案　2017年度収支予算報告の件

（５）第５号議案　役員一部改選の件

**２．理事会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **実施年日** | **内容** | **場所** |
| 第 1 回 | 2017.5.11 | 1. 第1４回通常総会議案の承認
 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| 1. 第１４回通常総会の日程及び役割分担
 |
| 1. 2016年市場規模調査結果報告と承認
 |
| 第 2 回 | 2017.9.27 | 1. 2017年度施策の進捗報告
 | 全麺連会館 |
| 1. 新規会員（RMK認定工場）の承認
 |
| ③　日本冷凍めん協会、全麺連会館4Fへの移転について予算含めての承認 |
| 第 3 回 | 2018.1.25 | 1. 2017年度施策報告
 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| 第 4回 | 2018.3.28 | 1. 2018年度施策及び予算の承認
 | 全麺連会館 |
| 1. 2018年役員改選についての討議
 |

**３．監査会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **実施年日** | **内容** | **場所** |
| 2017.5.11 | 1. 2016年度事業報告、財産目録、貸借対照表および損益計算の監査
 | 全麺連　会館 |
| 1. 2016年度事業活動の監査
 |

**４．技術委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内容** | **場所** |
| 第1回 | 2017.4.6 | 1. 2017年度の委員会活動方針と施策確認と検討
 | 全麺連　　会館 |
| 1. RMK認定工場監査について
 |
| 1. 製品検査について
 |
| 1. 勉強会4月、5月開催について
 |
| 1. 研修会関係、eラーニング、次年度研修旅行、技術研修会補助等
 |
| 1. 10月セミナー講師の件
 |
| 第2回 | 2017.7.26（情報委員会と合同） | 1. 2017年度RMK認定工場監査進捗報告
 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| ② 4,5月の勉強会実施状況報告と次回勉強会テーマ検討 |
| 1. eラーニング視聴状況の報告、実習研修会参加費補助状況報告
 |
| 1. 国内研修北海道十勝、38名参加、結果・状況の報告
 |
| 1. 麺業界小規模事業者向けHACCP基準Bの進捗報告
 |
| 1. その他年度後半の施策検討
 |
| 第3回 | 2017.10.4 | ①　RMK認定工場監査の進捗報告、新規RMK認定工場報告 | 全麺連　会館 |
| ②　勉強会1～2月のテーマ、講師報告 |
| 1. eラーニング視聴状況報告
 |
| 1. 実習研修会参加費補助状況報告
 |
| 1. 2018年度研修旅行、九州に決定、内容、募集状況等報告
 |
| ⑥　10/25セミナーの参加者等報告 |
| 工場監査打ち合わせ会 | 2017.12.1 | ◎技術委員会事務局と監査員（㈱知識経営研究所）の平成29年度監査報告会及び来年度の監査について | 全麺連　会館 |
| 1. 2017年度各工場の監査報告
 |
| 1. 各工場の状況及び第三者認証、HACCPの進捗報告
 |
| 1. 2018年度の工場監査の方向性を意見交換
 |
| 1. FSSC22000の一部改定等の工場監査への導入の考え方
 |
| 第4回 | 2018.2.1 | ◎2018年度の活動方針と具体的な施策検討 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| 1. RMK認定工場監査2018年度の方向性の検討
 |
| 1. 製品検査について
 |
| 1. 1月～2月にかけて勉強会のテーマ、および講師の件
 |
| 1. eラーニング視聴状況、アンケート結果の報告及び今後の検討
 |
| 1. 麺業界小規模事業者向けHACCP基準Bの進捗報告
 |
| ⑥　厚労省推進HACCPとJFS（日本発信食品安全規格）の関連の件 |

**５．情報委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内容** | **場所** |
| 第1回 | 2017.4.13 | ◎2017年度活動方針と施策について実施に向けての確認、検討 | 全麺連会館 |
| ①　2016年度追加施策課金型WEB広告兼調査 |
| 1. WEBプロモーション（業務向け、一般消費者向け）
 |
| 1. 協会HP及びSNSを使っての施策
 |
| 1. 協会HP維持管理、会員サイト等情報発信
 |
| 1. リアルプロモーション
 |
| 1. 業界紙への記事掲載と広告及び協賛広告
 |
| 1. 2016年市場規模調査（生産食数）の結果報告
 |
| 1. 2017年度予算
 |
| 第2回 | 2017.7.26（技術委員会と合同） | ◎2017年度施策の進捗報告・確認及び作業検討 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| 1. マイナビバイト施策（業務向け）
 |
| 1. マイナビウーマン・マイナビニュース施策（一般消費者向け）
 |
| 1. 協会HP上記①②とのリンク
 |
| 1. SNSプレゼントキャンペーンの検討（年度後半に向けて）
 |
| 1. 2017年チーズフェスタへの協賛施策の検討（11月開催に向け）
 |
| 1. 業界紙への記事、広告掲載状況の報告
 |
| 1. 後半実施予定、調査の件
 |
| 第3回 | 2017.10.12 | ◎2017年度施策の進捗報告及び振り返り来年度施策に向けた意見出し。 | 全麺連会館 |
| 1. WEB広告兼調査の報告
 |
| 1. WEBプロモーションの結果報告
 |
| 1. 2017チーズフェスタの冷凍めん協会の施策準備状況報告
 |
| 1. SNSプレゼントキャンペーンの施策内容、協力依頼
 |
| 1. 業界紙への記事、広告掲載状況の報告
 |
| 第4回 | 2018.2.8 | ◎2017年度活動の報告及び2018年度活動の事務局案について検討、意見だし。 | 日比谷中日ビル1Fシーボニアメンズクラブ |
| 1. WEBプロモーションのアンケート結果等報告、
 |
| 1. WEB広告等についての調査結果等報告
 |
| 1. 協会HP一般サイト、会員サイトのアクセス状況のまとめ報告
 |
| 1. SNSプレゼントキャンペーンの進捗報告
 |
| 1. 業界紙への掲載報告
 |
| 1. 上記2017年度結果を踏まえての2018年度施策事務局案報告
 |
| 1. 2018年度施策案に対する意見出しと活動の方向性確認
 |

**Ⅳ．RMKマーク認定制度に基づく活動および支援活動（技術委員会活動）について**

活動方針

＊ＲＭＫ認定工場のレベルアップを図り、おいしくかつ安全安心な冷凍めんの生産を推進する。

**１．認定工場施設衛生監査実施**

（１）工場監査の実施

①2017年度は、不適合となった工場はなかった。だだし、HACCP導入に関しては、3工場、新規加入工場1工場含め維持管理、進化させるため指導継続。

監査結果Aランク38工場、Bランク8工場。

②一方で46工場のうち33工場は何らかの形で第3者認証取得、うち28工場はFSSC22000を取得または認定作業中という状況。

（２）製品一斉検査事業について

①製品検査は、夏場と春先の2回実施した。

・一般生菌数、大腸菌群、Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌

・食味、形態、重量

②2017年（7～8月）の検査結果

・44企業、113検体

・前年夏場の検査に比べ300/ｇ以下が53％と同じ、999/ｇ以下では73％と6％増加し昨年より良い結果、大腸菌群の陽性率は16検体と減少、この夏の衛生状態も昨年より良い状況であった。茹で冷凍で特に菌数が多い2検体、生冷凍で1検体あり、ライン等の衛生状態に問題があったと考えられた。

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・重量に関しやや過重のものが3検体あった。

・食味、形態、及びサンプルへの異物混入なく、問題はなかった。

③2018年（2～3月）の検査結果

・46企業、120検体

・前年の冬場（2～3月）の検査結果と比較し、300/ｇ以下が81％と7％増加、999/ｇ以下は91％で3％増で良い結果であった。菌数が特に多かったものは5検体あり、うち生めんが4検体を占めていた。

・大腸菌群の陽性率7検体で前年より3検体増。調理めん具材使用製品1検体、生めん4検体の陽性率が高い傾向にあった。茹めんでも菌数はわずかであったが2検体あった。

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・内容量がやや過重製品が3検体あった。

・その他項目（異物、包装、形態、色沢、風味、食味性組織、その他）は問題なかった。

＊各工場に対しての問題等は、すべてフィードバックした。

**２．品質保証の為の実務者向け勉強会（第24回～第31回）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **講演内容　・　講師** | **開催場所** | **参加数** |
| 第24回 | 2017.4.11 | 1、「eラーニングの使い方」株式会社　レジェンドアプリケーションズシニアコンサルタント源　竜弥　氏２、「ボイラー周辺の省エネ技術」株式会社ジャパンイノベーションズ代表取締役藤田悦雄氏３、「食品機械用グリースの紹介」住鉱潤滑剤株式会社営業統括部　各支店担当営業様 | AP東京八重洲通りO会議室（11F） | 32名 |
| 第25回 | 2017.4.18 | 神戸国際会館802号会議室（8F） | 6名 |
| 第26回 | 2017.5.17 | JＲ博多シティ　小会議室I+J（10F） | 10名 |
| 第27回 | 2017.5.23 | 高松オフィスサポートセンタールーム05～08（17F） | 19名 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **講演内容　・　講師** | **開催場所** | **参加数** |
| 第28回 | 2018.1.23 | １、「計量制度見直し　自動ばかりに関して」　～計量法改正に伴って～株式会社　イシダ技術部　技術統括部　担当課長田尻　祥子　氏　営業管理部　次長山本浩之　氏２、「異物検出装置　最新動向について」株式会社　イシダ開発部　主幹技師広瀬　修　氏開発部開発三課係長久保　拓右　氏３、「麺の世界の深さ」株式会社　ソディック技術顧問　中国・農業科学院客員教授野口　明徳　氏 | AP東京八重洲通りF会議室 | 57名 |
| 第29回 | 2018.1.30 | 神戸国際会館805会議室（8F） | 29名 |
| 第30回 | 2018.2.14 | JR博多シティ小会議室I+J（10F） | 10名 |
| 第31回 | 2018.2.21 | 高松オフィスサポセンター05～08ルーム（17F） | 22名 |

**３．実習の参加費補助**

（１）公益社団法人　日本食品衛生協会主催の各種実習

（２)レジェンドアプリケーションズ株式会社主催HACCP研修等 合計7件

＊参加費補助実施

**４．セミナー（第7回）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **講演内容　・　講師** | **開催場所** | **参加人数** |
| 2017.10.25 | 1. ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」 | 品川プリンスホテルメインタワー宴会場 トパーズ（15F） | 85名 |
|  田園学園女子大学人間健康学部・教授　　荒木　香織氏 |
| 2.日本人が知らない、本当のお金の話 |
| 元国際金融ディーラー、ITスペシャリスト、起業家、思想家大西　恒樹氏 |

**５．視察研修（第6回）**

2017年度第6回視察研修は北海道十勝中心とした、北海道小麦の勉強を目的に参加者38名で7/18～7/20に実施した。

①西山製麺様、②新得農協様蕎麦農場と調整工場、③音更農協様、小麦農場、調整工場、④農研機構芽室センター様、北海道小麦、そば、デンプンの講義を受けた。

各訪問先で講和を頂き、工場見学、圃場見学、北海道小麦、そば、デンプンの知見を多く得た。

**Ⅴ．日本冷凍めん協会の品質保証システム「RMK認定制度」「冷凍めんだから美味しい」を訴求する広報活動**

**活動方針： 「新鮮凍結めん」RMK認定冷凍めん、だから「おいしい」、**

**だから「簡単・便利」、だから「安全・安心」**

**１．** **WEBサイトを使ってのプロモーション**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催期間** | **内容** | **成果** | **備考** |
| 2017年6/30～8/24 | ①マイナビウーマン・マイナビニュースでのタイアップ記事、広告 | 「ふたりの幸せレシピ」‐そのヒミツは料理にあり‐　というタイトルでカップル向けにコミニケーションツールとして、簡単に作れて美味しい冷凍めんメニューの魅力を女性だけでなく男性にもアピール。 | ①33887PVうち女性23479PV（69.28％）,男性10408PV（30.73％）の方に閲覧時間1分57秒としっかり読み込んで頂けた。（マイナビサイトの平均閲覧時間1分03秒）②この施策からの協会HPへの導入は969クリックあった。③アンケートの回収は700件あった。 | 各施策のアンケート等の結果は、協会HP会員サイトに掲載。 |
| 2017年9/15～公開 | ②マイナビバイトとのコラボ企画 | 東京の個人居酒屋1000店舗に冷凍めんの冊子配布、冷凍めんアンケートの実施。冷凍めんのサンプリング（まかないへの提案）、マイナビバイトのページにまかないメニューの提案掲載 | ①1000店舗に冷凍めん啓蒙冊子配布。②アンケート104件、目標未達改めて業務筋へのアプローチの難しさ実感。アンケートの内容から次年度への施策への繋がる、ヒントを得られた。③冷凍めんのサンプリングは100店舗、予定目標を達成。 |
| 2017年3月下旬～4月 | ③2016年度施策Google,Line,Facebookでの広告（表示回数21,841,903回） | クリック回数32,931回、協会HPへの訪問数が前年より26,922件増加 | この広告、SNSからの協会HPへの流入が31,693件。（前年805件）大幅に増加。 |

**２．ホームページ（ＨＰ）でのプロモーション**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催期間** | **内容** | **成果** | **備考** |
| 2017年4月～2018年3月 | ①マイナビウーマン、ニュース、バイトとのリンク、冷凍めん啓蒙冊子、飲食店・小売店向け情報ページ改定、名店探訪（お店紹介） | ①WEBタイアップ、検索サイト、外部サイト、SNS,WEB広告からの流入へ対応、訪問総数72,952回。②スマフォからのアクセスが70％。③レシピ等おいしさ関連のページへのアクセスが増加。 | 次年度施策へ活かせる結果が多く得られた。 |
| 2017年11月～2018年3月 | SNSを使ってのプレゼントキャンペーン（冷凍めん商品の提供は理事会社様に提供頂きました。） | 今年度の応募数は7063件・・・昨年も多く5829件、今年はさらに応募数が増加） | 冷凍めんのおいしさを実感して頂けた。 |
| 通年 | 会員サイトの管理、情報掲載と発信 | ＊会員サイトPV数4240、訪問回数2821＊食品表示基準について、協会資料ひな型・マニュアル、行政情報・ニュースクリップ協会からのお知らせ、勉強会・研修・セミナースケジュールがトップ5で会員の関心の高い情報の閲覧がしっかりされ、利用頂けた。 | 情報の質を上げる必要性、その為の協会としての活動の質向上を考えさせる内容となった。 |

**３．チーズフェスタ協賛参加**

＊2017年11月11,12日「チーズフェスタ2018」でチーズと冷凍めんのコラボメニュー2種類を2日間で合計480食、会場で提供した。

**４．協会広告の手直しと掲載**

＊業界紙等の冷凍めん関連記事に合わせる形で広告掲載を、前年並みの総数実施。

**５．調査の実施**

（1）市場規模調査

＊毎年行っている生産食数調査を今年度も43企業の協力を得て実施。

結果は以下の通り。

　　（2）冷凍めんの認識調査（一般向け、3年1回）

　　　　＊結果は、協会HP会員サイトへ掲載。

**Ⅵ．市場規模および2017年生産食数の公式発表について**

2017年は43企業の協力を得た調査となった。

なお、本資料は農林水産省をはじめ報道関係の一般紙新聞社、食品産業界の新聞および

雑誌に配布しました。

**１．市場規模（日本冷凍めん協会調査）生産食数（暦年1月～12月）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **業務用（万食）** | **市販用（万食）** | **合計（万食）** | **前年比（％）** |
| 2011年 | 95,491 | 56,222 | 151,714 | 108.0 |
| 2012年 | 93,043 | 76,644 | 169,687 | 111.8 |
| 2013年 | 99,338 | 73,285 | 172,624 | 101.7 |
| 2014年 | 97,393 | 63,075 | 160,468 | 93.0 |
| 2015年 | 98,397 | 69,993 | 168,390 | 104.9 |
| 2016年 | 93,819 | 79,016 | 172,835 | 102.6 |
| 2017年 | 96,743 | 82,624 | 179,368 | 103.7 |

**２．ＲＭＫ申告数（年度4月～3月）（2018年4月30日現在）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **業務用（万食）** | **市販用（万食）** | **合計（万食）** | **前年比（％）** |
| 2010年 | 56,050 | 53,006 | 109,056 | 124.8 |
| 2011年 | 61,030 | 46,796 | 107,826 | 98.9 |
| 2012年 | 66,714 | 48,955 | 115,668 | 107.3 |
| 2013年 | 67,794 | 52,764 | 120,538 | 104.2 |
| 2014年 | 68,139 | 53,069 | 121,208 | 100.5 |
| 2015年 | 66,504 | 54,195 | 120,699 | 99.6 |
| 2016年 | 67,021 | 54,955 | 121,976 | 101.1 |
| 2017年 | 68,906 | 55,133 | 124,019 | 101.7 |





**監　査　報　告**

一般社団法人 日本冷凍めん協会

会　長　　和田　博行　殿

2017年4月1日から2018年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１、監査方法及びその内容

私は理事との意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に関わる事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）について検討いたしました。

２、監査結果

（1）事業報告等の監査結果

　一　事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

　二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2018年5月8日

一般社団法人 日本冷凍めん協会

監　事　 宮 田　一 正

監　事　 堀 　　敬 祐

**第３号議案**

**2018年 度 事 業 計 画**

今年度における世界経済は、金融・資源エネルギーの変動に加え、英国のＥＵ離脱、米国トランプ政権の保護主義的な通商政策など、政治・政策面の大きな動きから、先行き不透明感が高まっております。

一方、わが国の経済は、本格的な少子高齢・人口減少への対応など、構造的な課題に直面しています。足元では、労働力不足が企業活動に大きな影を落とし、その確保と働き方改革が喫緊の課題となっている状況が伺えます。

加えてＩｏＴや人工知能の活用といった技術革新が進行し、社会インフラから日常生活、さらには雇用の分野に至るまで大きな影響を与えると言われています。

食品製造業においては、これら構造変化が進みつつあることから、一人当たりの飲食量は減少していくが、健康要素や簡便性を持つ付加価値の高い商品や高品質な商品などが実績を伸ばし、単価が上昇するため、市場は辛うじて拡大にて推移すると予想されます。

ただ、一方で我々には、いたずらに付加価値や高品質だけに注力するのではなく、食品安全をしっかり担保して行く責任もあります。昨年も食の安全を脅かす重大事故がいくつか発生しました。本年度も引き続き、例外を作らず一層の品質管理が求められると当協会一同、身の引き締まる思いでおります。

今年度の事業計画としては、まずRMK認定工場のレベルアップ活動が挙げられます。具体的には、食品安全手順の導入強化であり、今年度については小規模工場でも第三者認証取得を推進し、安全・安心を第一義として注力して参ります。また、FSSC22000はバージョン4.1に移行し、認証取得組織において、それらへの対応が求められております。当協会では、これら移行に伴う追加要求事項に対し、適切な指導を行うと共に、今後の工場監査におけるチェック項目の追加など、様々な側面での支援を継続して参ります。しかしながら、そのベースはやはり、会員各社の従業員一人ひとりの食品安全に対する正しい知識の取得となりますので、昨年度に続き、各種勉強会を始め、ｅラーニングの活用を推進して参ります。

また、「冷凍めん」の普及活動という側面では、前年度施策を鑑み、当協会ホームページの再整備及び活用を最優先施策に掲げ、レシピページの拡充を始め、WEBプロモーションを積極的に実施し、「冷凍めんだから美味しい」を関係者の皆様に強力にアピールして参ります。

さらに、特記事項として、今年度においては、消費者の主体的な商品選択を支援し、冷凍めん業界の指針を示す目的で、「冷凍めんの公正競争規約」の策定検討に入ります。

このように当協会は、HACCPの義務化、マネジメントシステムの要求事項追加など、環境変化に対応する事業計画推進のため、今後も随時体制整備を図って参りますので、関係各位のご支援・ご協力を引き続きお願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

**Ⅰ．2018年度基本方針**

**１．ＲＭＫ認定工場のレベルアップを図り、おいしくかつ安全安心な冷凍めんの生産を支援する。**

・ＲＭＫ認定工場工場監査、FSSC22000、ISO等の規格変更に伴う指針の改定

・会員等への必須情報の共有の為の勉強会・eラーニング利用率の向上施策

・食品衛生法改正に伴う管理指導（HACCP強化等）

**２．****「新鮮凍結めん」RMK認定冷凍めん、だから「おいしい」、だから「簡単・便利」、**

**だから「安全・安心」**

・WEBサイト等からのアクセス対応のための協会ホームページの整備

・消費者（市販用）・業務筋（業務用）へバランスを考えた冷凍めんの広報活動

・WEB拡散力を利用しての広報活動

**３．****食品安全など変化する環境への対応、また、会員各社の要請に応えるための体制整備、施策への着手。**

・具体的な施策への着手

・会員の要請等を受け協会機能の拡充

**Ⅱ．2018度の基本方針に基づく具体的な施策**

**１．RMKマーク認定制度に基づく活動および支援活動**

（１）RMK認定工場の工場監査

①2018年度ＲＭＫ認定46工場+2回監査10工場

②HACCPの強化と小規模工場での第三者認証の取得支援

③FSSC22000の規格変更に伴う、チェック項目増と指導

④フ―ドディフェンス項目（チェック、指導3年目）、およびISO22000等一部変更の指針への盛り込み、2019年度工場監査への利用検討。

（２）製品検査

①年2回全RMK認定工場実施（必須）

②RMK認定工場ライン等の衛生状態確認

③RMK認定工場の自工場検査精度確認へ利用

④公益社団法人日本食品衛生協会へ委託・公的機関検査結果として利用

（３）勉強会

①2018年度1回目

＊7～8月にかけて、食品衛生法の改訂に伴う勉強会を東京、神戸、博多、高松で、

　併せて包装、製麺等技術的な講義を加え実施予定。

②2回目は未定

＊食品表示＊計量法政省令改定＊その他をテーマとして予定

　　　　　③eラーニングの使い方に関する小規模な勉強会を予定

（４）ＲＭＫ認定工場等会員工場支援

①（公社）日本食品衛生協会研修の情報提供及び参加費補助

②㈱レジェンドアプリケーションズ農水省支援事業の研修等参加費補助

③eラーニングのRMK認定工場への提供（3年目）

（５）セミナー

①10月24日、会場：品川プリンス

②講師：川島隆太氏（脳科学）、ケント・ギルバート氏（国際政治経済）

（６）研修旅行

①2018年5月15～17日

＊九州福岡、熊本：九州小麦等の勉強・・・参加者32名

②2019年度実施内容の検討を行う

（７）その他、会員支援の検討を行う

　**２．「新鮮凍結めん」RMK認定冷凍めん、だから「おいしい」、だから「簡単・便利」、**

**だから「安全・安心」を一貫して伝える**

**＊前年度施策結果から、協会ホームページの整備を優先施策とする。**

（１）協会HPの整備施策

①既存レシピの検索フラグの設定、新レシピ開発、レシピページの改修等

②会員サイト掲載作業整理

③冷凍めん使用したカレンダー作成（レシピ開発兼ねる）

（２）WEBプロモーション

①「マイナビニュース」「マイナビウーマン」での編集タイアップ

②居酒屋等業務筋へ冷凍めんメニュー、お店紹介の企画

③協会HP、WEBプロモーション、SNSプレゼントキャンペーンのリンク

（３）業界紙、関係団体協賛広告等での成果の上がる協会アピール

（４）調査

①冷凍麺生産者に対する調査2018年度分（市場規模調査）

　　**３．食品安全など変化する環境への対応、また、会員各社の要請に応えるための体制整備、施**

**策への着手**

　　　（１）冷凍めんの公正競争規約の策定検討

　　　　　 ①組織の設立

　　　　　 ②内容の検討

　　　（２）協会事務局拡充の検討



**第5号議案**

**役員改選の件**

**１．改選理由**

　　　　　任期満了に伴う理事改選

　　**２．理事候補者名**

（役職は2018年5月8日現在）

　　　　【別紙】参照

**第６号議案**

**監事一部改選の件**

**１．改選理由**

所属企業異動に伴う監事交代

＊任期は前任者の任期を引き継ぐ

**２．監事候補者名**

（役職は2018年5月21日現在）

　宮田　精久（みやた　あきひさ）

（日本製粉株式会社　理事　食品営業部門加工食品部長

日本リッチ株式会社　代表取締役社長　6/28就任予定）